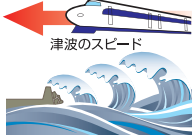


No.	避難対象地区	避難場所	No.	避難対象地区	避難場所	No.	避難対象地区	避難場所
1	恋路	恋路集会所周辺	19	内浦長尾	内浦長尾台地	37	羽根	旧鉄道羽根駅周辺
2		ラブリ恋路駐車場	20		五色ヶ浜周辺高台	38		遠島山公園
3		松岡寺駐車場	21	新保	新保大山周辺	39		旧国道付近(欄木側)
4	松波	松波城址公園	22		新保集会所周辺高台	40		万寿山公園
5		福祉センター屋上	23	越坂	越坂、越坂口バス停周辺	41	宇出津	役場能都庁舎(3階以上)
6		御坊山(平尻町)	24	越坂、市ノ瀬	吹上登り口周辺	42		公立宇出津総合病院
7	松波、布浦	能登自動車学校横交差点	25	市ノ瀬、小木	小木浄化センター周辺	43		宇出津小学校グラウンド
8		松波小学校グラウンド	26		日台山公園	44		錦町周辺
9		もちの木団地周辺	27		高瀬台地	45		崎山台地
10	布浦	赤崎コミュニティセンター周辺	28	小木	法融寺周辺	46	宇出津、藤波	能都中学校グラウンド
11		比那神社周辺	29		犬山灯台周辺	47	藤波	藤波台運動公園
12	布浦、九里川尻	白山神社周辺高台	30		旧小木分校周辺	48	波並	旧三波小学校周辺
13	九里川尻	火葬場跡地周辺	31	小木、姫	小木姫トンネル交差点	49	矢波	新開農地周辺
14	立壁、四方山	立壁・四方山台地	32	姫	姫上野台地	50	藤波～鶴川	農免道路(藤波～鶴川)
15		遍照寺周辺高台	33	姫、真脇	旧真脇小学校グラウンド	51	七見	能登七見健康福祉の郷 なごみ
16	白丸	菅原神社周辺	34	真脇	真脇集会所前広場	52		七見口(鶴川側)
17		上下出台地	35		旧鉄道小浦駅周辺	53	鶴川	旧鶴川小学校グラウンド
18		旧白丸小学校周辺高台	36	小浦	小浦崎山	54		浄覚寺周辺

津波を知ろう！

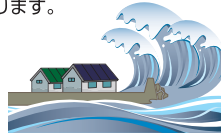
→ 津波のスピードは速い

沖合での津波は、新幹線並みの速度で進みます。注意報や警報が出る前に津波が到達する場合もあるため、ただちに避難を開始しましょう。



→ 津波の高さは想像を超える

海岸の地形によって、津波は、予想された高さの数倍に達することがあります。



→ 引き波で津波が始まるとは限らない

津波の前に必ず引き波があるとは限りません。いきなり大きな波が襲ってくることもあります。

→ 津波は何度も襲ってくる

津波は繰り返し襲ってくる場合があります。警報、注意報の解除まで避難を継続しましょう。

→ 津波の破壊力はすさまじい

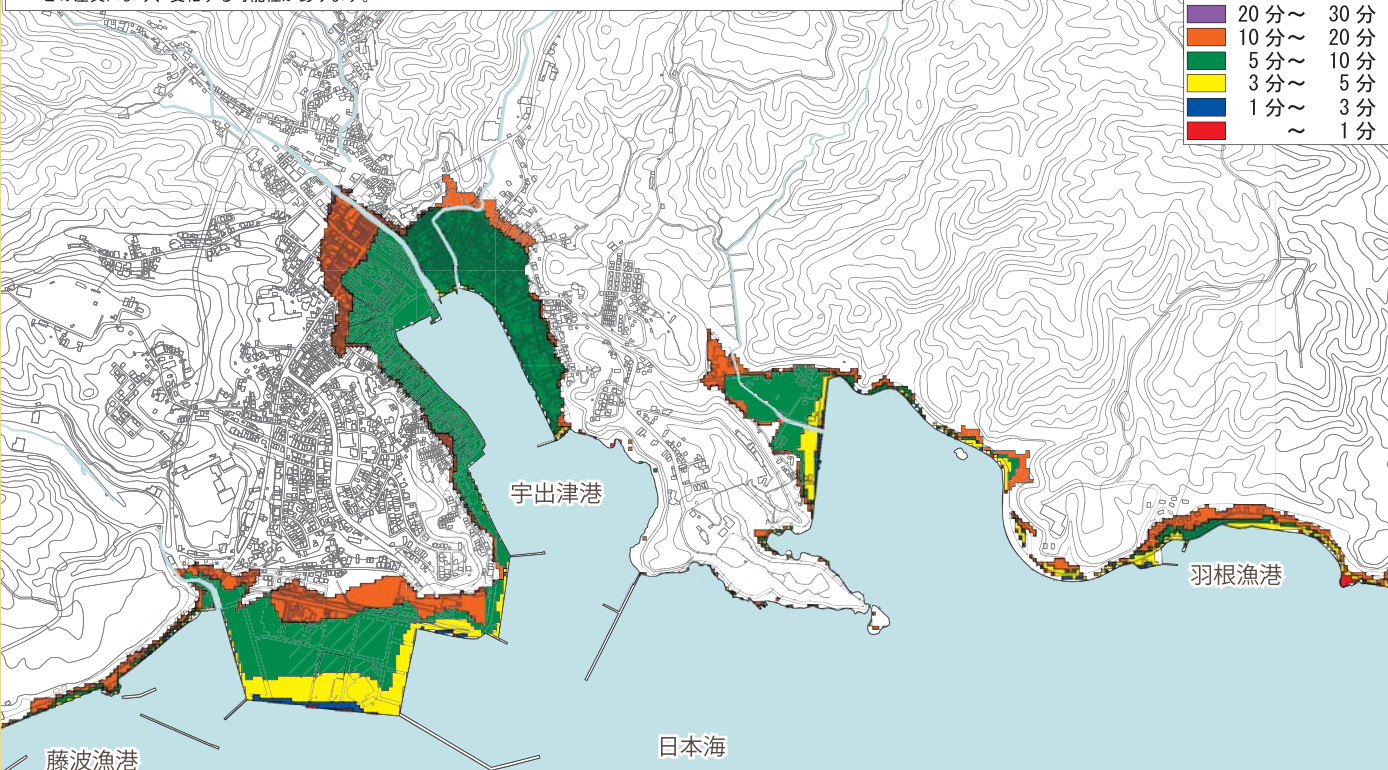
津波は家や車を流してしまうほど、すさまじい破壊力を持っています。木造家屋では、浸水深2m程度でほぼ全壊、1m程度で半壊となります。

津波浸水開始時間(浸水深1cm以上)！

【津波浸水開始時間について】

この浸水開始時間は、浸水想定を行った全ての断層による浸水開始時間(1cm以上)のうち、最速のものの時間を示したものです。

注) 浸水開始時間は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、変化する可能性があります。



能登町津波ハザードマップ

日頃から備えよう!! 津波から身を守るために。

この「能登町津波ハザードマップ」は、石川県が作成した「石川県津波浸水想定区域図」を基に、町民のみなさんが津波から避難するために必要な浸水情報や避難情報などをまとめたものです。津波からの避難に備え、日頃からこのハザードマップを利用していただき、町民のみなさんの一人ひとりの行動と町内会や自主防災組織等による行動で、少しでも被害を減らしたいと考えています。実際の津波はどのような状態で襲ってくるか分かりません。いざという時にスムーズに対応できるように、周囲の標高を確認したり、早く安全に避難できる場所や避難経路を確認しておきましょう。



津波発生時の心得！

→ 大きな揺れを感じたら、ただちに高い場所へ

海岸周辺で大きな揺れを感じた場合は、津波警報の有無にかかわらず、ただちに高い場所へ避難してください。海岸から少しでも遠く高い場所へ避難することが原則です。



→ 一刻を争うときは、近くの頑丈な3階以上の建物へ

津波の到達が差し迫り、高い場所や避難場所まで避難する時間がない場合は、近くの頑丈な建物(鉄筋コンクリート造)の3階以上に避難しましょう。



→ 警報・注意報がでたらすぐに避難

地震を感じなくても油断は禁物です。揺れが小さくても津波が起きることがあるので避難を開始しましょう。

予報の種類	予想される津波の高さ・数値での発表			巨大地震の場合の発表	発令される避難情報
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	10m (5m<高さ≤10m)	5m (3m<高さ≤5m)	巨大	避難指示(緊急)
津波警報		3m (1m<高さ≤3m)		高い	避難勧告
津波注意報		1m (20cm≤高さ≤1m)		(表記しない)	

気象庁は、地震が発生してから約3分を目標に津波警報(大津波、津波)または津波注意報を発表します。

→ 情報収集は安全な場所へ移動してから

情報を待っていて逃げ遅れる場合があります。情報収集はまず安全な場所へ移動してから行いましょう。



→ 避難は車を使わず、原則徒歩で

一刻を争う津波の避難では、車による避難は渋滞を引き起こし、かえって危険です。避難は徒歩が原則です。



→ 海辺や川べりには近づかない

地震の後は、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり、非常に危険です。海辺や川べりからただちに離れ、避難の時に近づかないようにしましょう。



→ 寄り道はしない

津波からの避難は一刻を争います。家のことを心配して引き返したり、貴重品を取りに戻ったりせず、避難してください。



→ 地域で助け合い

避難をするときは地域で声を掛け合い、お年寄りや体の不自由な方など、近所で助け合って避難をしましょう。



日頃からの備え！

→ 避難場所、避難経路を決めておく

避難する際の避難場所、避難経路は事前に家族で決めておきましょう。避難経路は万一のために複数の経路を決めておきましょう。



→ 持ち出し品を準備しておく

持ち出し品は、必要な物を持ち出せる分だけ、備えておきましょう。

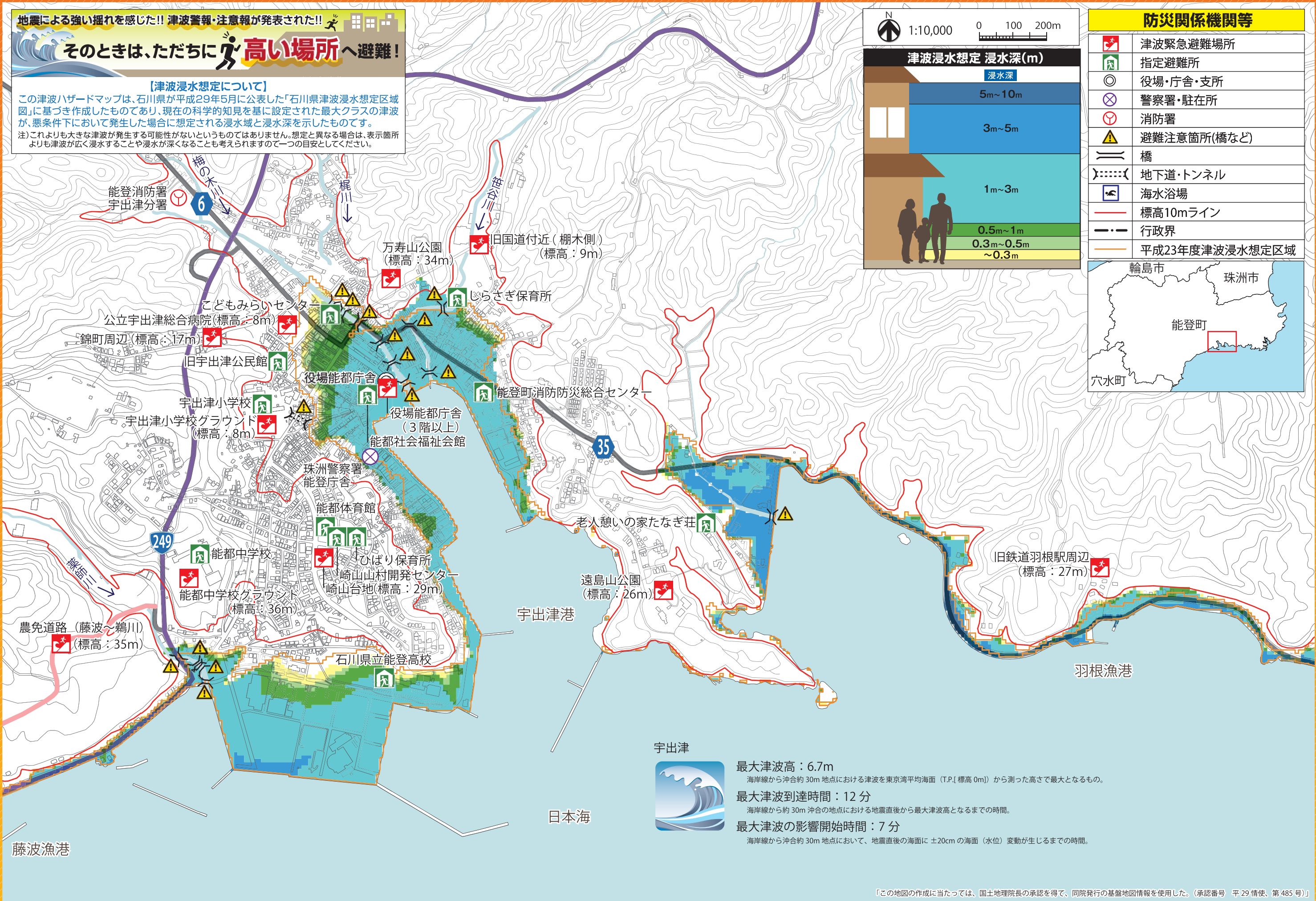
(例: 食料・飲料水、医療品、ラジオ・懐中電灯・道具類、貴重品、衣類など)



→ 家族の連絡方法を決めておく

NTT災害伝言ダイヤルの利用や、避難先、安否情報を書いた連絡メモの掲示など具体的に連絡方法、内容を決めておきましょう。





「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第485号)」